



バイエル クロップサイエンス
株式会社
〒100-8262
東京都千代田区丸の内
1-6-5 丸の内北口ビル
TEL 03-6266-7007
www.cropscience.bayer.jp

News Release

(※当資料は、農政クラブ、農林記者会にて資料配布をさせていただいております。)

自動走行による精密散布技術を地上散布車にも展開し、作業の効率化、省力化にさらに貢献：

バイエル クロップサイエンス、果樹・園芸作物分野の精密農業の拡大に向け 農業用無人車「R100」「R200」の2機種を販売開始

- RTK 利用による自動走行と AI アシスタントにより、安全かつ正確な走行と散布を実現
- 高性能エアアシストシステムと遠心式ジェットスプレーヤーで細かく均一なミストで最適散布
- 車載カメラによる RealTerra マッピングで、圃場画像を高解像度で処理し精度の高い経路を設計
- 軽量で耐久性に優れた車体は、タンクと散布装置を外して収穫物の運搬等にも使用可能

東京、2026年2月25日 — バイエル クロップサイエンス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:大島 美紀、以下バイエル クロップサイエンス)は、XAG Co., Ltd. が開発・製造する高性能農業用無人車「R100」及び「R200」の2機種の販売を2月25日より開始します。

R100



R200



果樹や園芸作物などの栽培現場では、品質の優れた収穫物を得るため、害虫や病気の被害による品質低下を防ぐことを目的に正確かつ均一な農薬散布が求められています。また、生産者の高齢化、離農に伴う担い手不足が進む中、果樹や園芸作物分野においても農作業の効率化、省力化に貢献するソリューションの普及が期待されています。

農業用無人車「R100」、「R200」は RTK による制御で、どなたでも簡単かつ安全に、正確な走行と散布を実現する性能を有しています。車体には軽量、耐久性、安定性を実現するアルミニウム構造を採用し、タンクと散布装置を外すことで収穫物の運搬等にも使用できます。また、高性能モーターと独立モーター駆動システムで強力なオフロードパフォーマンスを発揮し、平地や果樹園等の複雑な地形でも走行でき、最大積載量は 4 輪駆動の「R100」は 126kg、6 輪駆動の「R200」は 240kg とパワフルです。

散布モードには革新的な RevoSpray システムを搭載し、高性能エアアシストシステムと組み合わせた遠心式ジェットスプレーヤーを使用することで、正確で均一な散布を可能にします。「R100」は 120L 液剤タンクと 2 つのジェットスプレーヤーを、「R200」は 240L 液剤タンクと 4 つのジェットスプレーヤーを搭載し、温室や果樹園などで優れた散布性能を発揮します。水平最大散布幅は片側 7メートル、各ポンプは最大 4L/分の流量を供給し、液滴サイズは 60~200 μ m で細かく均一な散布を実現。ジェットスプレーヤーは作物の大きさに合わせて手動で角度調整可能で、正確で省力的な散布作業に貢献します。

また、直感的な操作が可能な 7 インチ画面のリモートコントローラーを採用したことで動作状況をリアルタイムで監視し易く、自動走行時は AI アシスタント機能によって前方の歩行者を自動で検知し、4m で警告、2m で停止し安全を確保します。さらに高性能車載カメラを利用した RealTerra マッピングにより、高精度なルート計画と運用を実現します。これらの安全機能を備えた自動走行の実現により、生産者の農薬散布の負担を大幅に軽減します。

バイエル クロップサイエンスは、今後も「Co-Creation -共創」による革新的ソリューション開発を通じて、果樹や園芸作物分野においても精密農業を加速し、日本の農業の発展に貢献していきます。

【R100、R200:製品特徴】

- スマート制御と AI アシスタントで安全かつ正確な走行と散布を実現
- 高性能モーターと独立モーター駆動システムにより多様な地形で力強い走行性能を発揮
- 高性能エアアシストシステムと遠心式ジェットスプレーヤーによる細かく均一なミストで、最適散布を実現。生産者の散布作業時の負担を大幅に軽減
- 着脱可能なモジュール設計により、収穫物、農作業資材等の運搬作業にも利用可能
- RealTerra マッピングにより、圃場の画像を高解像度で処理し精度の高い経路と走行を実現
- 軽量で耐久性、安定性に優れたアルミニウムを採用し、使用後のメンテナンスも簡便

【R100、R200:製品仕様】

| | R100 | R200 |
|-------------|----------|----------|
| 重量 | 80kg | 130kg |
| 積載量(含バッテリー) | 126kg | 240kg |
| 車体幅 | 80cm | 80cm |
| 最高走行速度 | 1.5m/秒 | 1.5m/秒 |
| 最大傾斜角度 | 12° | 12° |
| 液剤タンク容量 | 120L | 240L |
| 液滴サイズ | 60~200μm | 60~200μm |
| 最大散布流量 | 8L/分 | 16L/分 |
| 車体保護 | IPX6 | IPX6 |
| 最大作業時間(満充電) | 30分 | 15分 |
| 最速充電時間 | 12分 | 12分 |

【R100、R200:製品概要】

詳細については、[SoraNavi](#) よりご確認ください。

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと食糧関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。私たちのミッション「Health for all, Hunger for none(すべての人に健康を、飢餓をゼロに)」のもと、バイエルの製品とサービスを通じて、世界人口の増加と高齢化によって生じる重要課題克服への取り組みをサポートすることで、人々の生活と地球の繁栄に貢献しています。バイエルは、持続可能な発展を推進し、事業を通じて良い影響を創出することに尽力しています。同時に、収益力を高め、イノベーションと成長を通して企業価値を創造することも目指しています。バイエルブランドは、世界各国で信用と信頼性および品質の証となっています。2024年のグループ全体の売上高は466億ユーロ、従業員数は約93,000名、研究開発費は62億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル クロップサイエンス株式会社について

農業、種子の分野で世界をリードするドイツ・バイエル社 クロップサイエンス部門に属し、日本における農業関連事業を展開しています。環境とヒトにより調和した農薬とその使用法の開発に加え、ドローンをはじめとするロボティクスや、個々の生産者のニーズに応えるテーラーメイド農業を実現するデジタルソリューションの開発・提供を軸に、日本の農業の持続可能な発展に貢献しています。詳細は www.cropscience.bayer.jp, [Facebook](#), [YouTube](#) をご参照ください。

バイエル クロップサイエンス株式会社

2026年2月25日、東京

この件に関するお問い合わせ先:

クロップサイエンス部門 広報

川添 (かわぞえ)

Tel: 03-6266-7470

読者からのお問い合わせ先:

バイエル クロップサイエンスお客様相談室

Tel: 0120-575-078(平日 9:00—12:00、13:00—17:00 受付)

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている場合があります。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。